

目 次

		ページ
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	VLBI の 10 年—地球科学への貢献	真 鍋 盛 二 152
EUREKA 〈研究紹介〉	自己重力多体系の進化に対する粗視化の効果	土 屋 俊 夫 158
天球儀 〈読物〉	韓国の天文学—最近の事情	趙 世 衡 162
シリーズ	《ハイテクとおめがね事情(4)》 野辺山電波ヘリオグラフ —太陽フレアの謎に迫る電波の目—	西 尾 正 則 171
書評	ポルツマン先生, 黄金郷を旅す	173
雑報	研究会報告 —Scientific and Engineering Frontiers for 8-10m Telescopes— 今, 天文で何を教えるべきか —天文教育フォーラム報告— 日本学術会議だより No. 35	家 正 則 174 奥 田 亨 175 178
月報だより		180

表紙説明

設置完了した 1.8 m 反射望遠鏡のドーム及び建設中の研究棟を含む慶北永川の普賢山 (海拔 1127 m) の頂上.

1.8 m 望遠鏡の初期段階での観測機器としては CCD カメラ, 中分散分光器, スペックルカメラなどが計画されている.
(天球儀参照)

(表紙デザイン 藤居保子)